

## 中部運輸局

平成27年11月27日 記者懇談会発表



はこぶちゃん

## 連絡先

国土交通省中部運輸局自動車技術安全部

保安・環境課 山下、横山

TEL 052-952-8044

国土交通省中部運輸局自動車交通部

自動車監査官 大間知、栗本

TEL 052-952-8038

**「中部ブロック事業用自動車安全対策会議」を開催しました**

中部運輸局では、平成27年11月24日（火）に「第8回中部ブロック事業用自動車安全対策会議」を開催しました。本会議は、平成21年3月の国土交通省「事業用自動車総合安全プラン2009」に基づき、平成21年6月より「中部ブロック事業用自動車安全対策会議」として開催しております。本会議は中部管内のバス、タクシー、トラック各事業者団体、自動車整備振興会、自動車事故対策機構等の関係機関及び、中部管内の各運輸支局長等により構成され、平成26年の事故発生状況を把握し分析するとともに今後の取り組みについて検討しました。

## 1. 平成26年の中部管内の事故発生状況

- ・交通事故死者数について、全国比で中部は若干少なく指標を概ね達成した。
- ・人身事故件数について、全国比で中部は少ないが、減少傾向が鈍化しており指標を達成していない。  
(別添資料 ①② 参照)

※指標：「事業用自動車総合安全プラン2009」では、「交通事故死者数及び人身事故件数について、平成30年までの10年間で半減」との目標を掲げております。その目標を達成するための、各年ごとの目標数を示す。

## 2. 今後の主な取り組みについて

- ① 中間見直しの講ずべき施策の更なる推進 (別添資料 ③1 参照)
- ② 取り組み事例の水平展開 (別添資料 ③2 参照)
- ③ 健康管理支援事業の取り組み (別添資料 ③3 参照)

# 交通事故の発生状況

(全国及び中部の保有両数1万台当たりの件数)

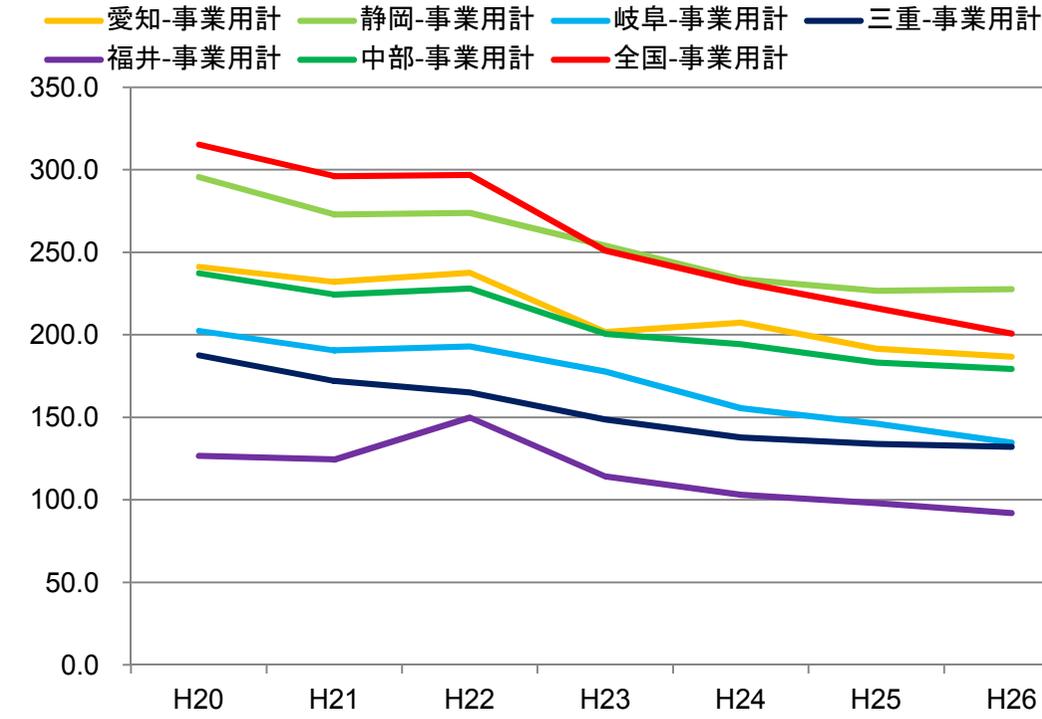
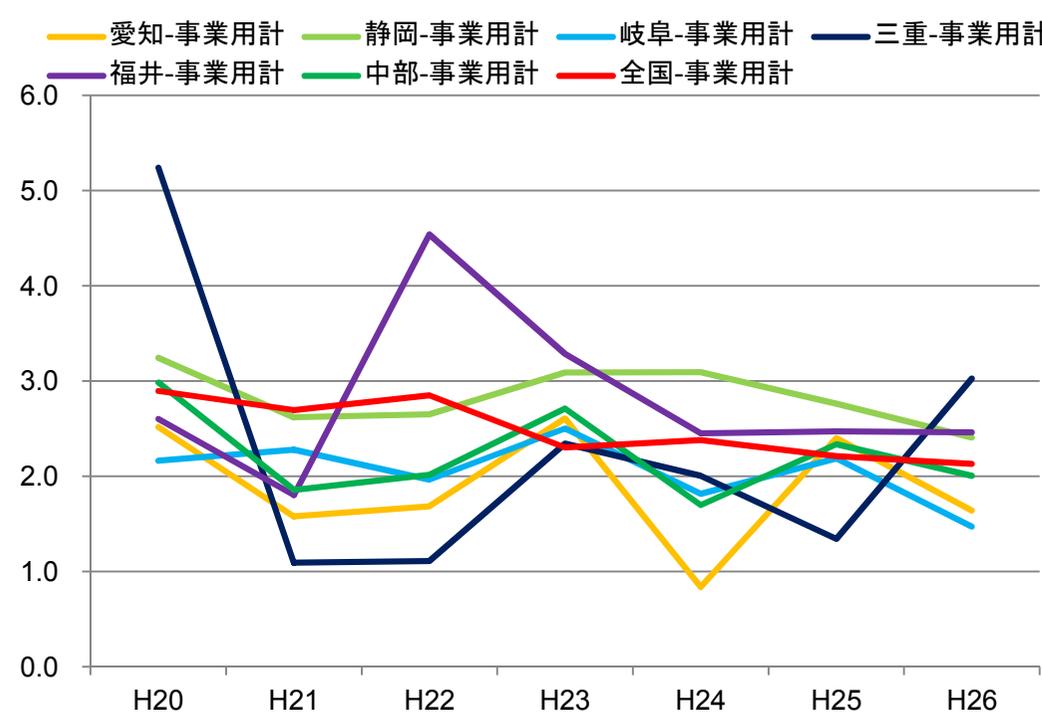
○交通事故死者数については、全国は平成26年に2.1人/万台で、中部は2.0人/万台と若干少ない。  
 ○人身事故件数については、中部は180件/万台となり全国ベースと比べ約1割少ない。

各県別1万台当たり死者数 (人/万台)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
愛知	2.5	1.6	1.7	2.6	0.8	2.4	1.6
静岡	3.2	2.6	2.7	3.1	3.1	2.8	2.4
岐阜	2.2	2.3	2.0	2.5	1.8	2.2	1.5
三重	5.2	1.1	1.1	2.3	2.0	1.3	3.0
福井	2.6	1.8	4.5	3.3	2.5	2.5	2.5
中部	3.0	1.9	2.0	2.7	1.7	2.3	2.0
全国	2.9	2.7	2.8	2.3	2.4	2.2	2.1

各県別1万台当たり人身事故件数 (件/万台)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
愛知	241.1	232.1	237.6	201.7	207.4	191.5	186.6
静岡	295.6	273.0	273.9	254.0	233.8	226.7	227.6
岐阜	202.4	190.5	192.9	177.7	155.5	146.1	134.7
三重	187.6	172.1	165.1	148.6	137.7	133.9	132.0
福井	126.6	124.4	149.8	114.2	103.0	98.0	91.9
中部	237.3	224.3	228.0	200.6	194.2	183.2	179.4
全国	315.2	296.1	296.9	251.0	231.7	216.2	200.7



※出典:(公財)交通事故総合分析センター(イタルダ)及び中部運輸局資料

# 交通事故発生状況について

## (全国及び中部の目標達成状況)

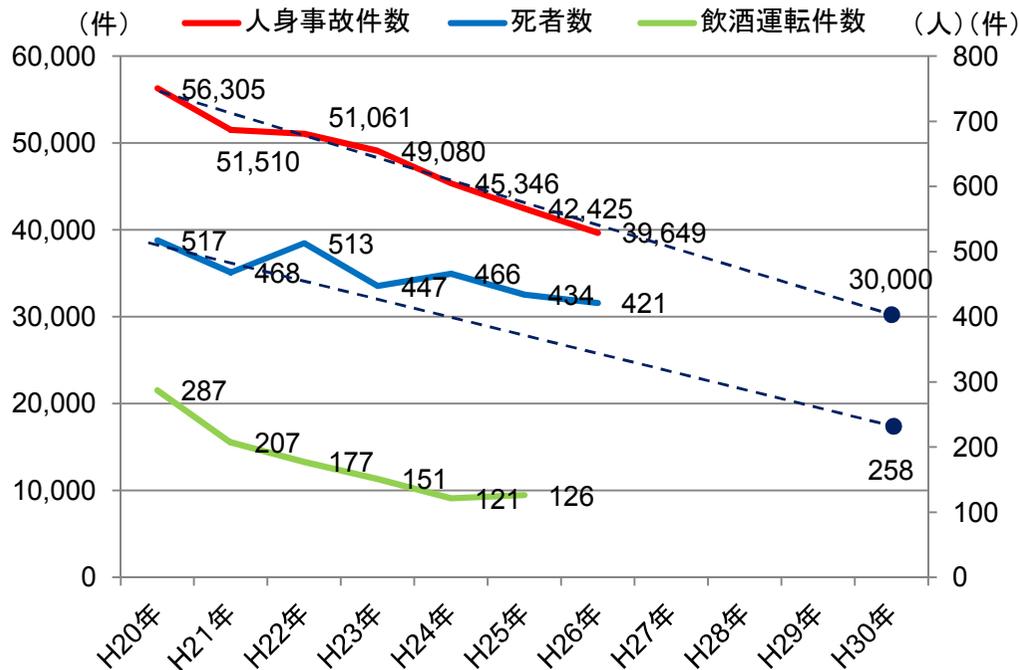
資料 ②

- 交通事故死者数については、全国ベースに比べ、より減少し50人と指標(49人)を概ね達成した。
- 人身事故件数については、全国ベースに比べ、減少傾向が鈍化しており4,470件と指標(3,898件)を達成していない。

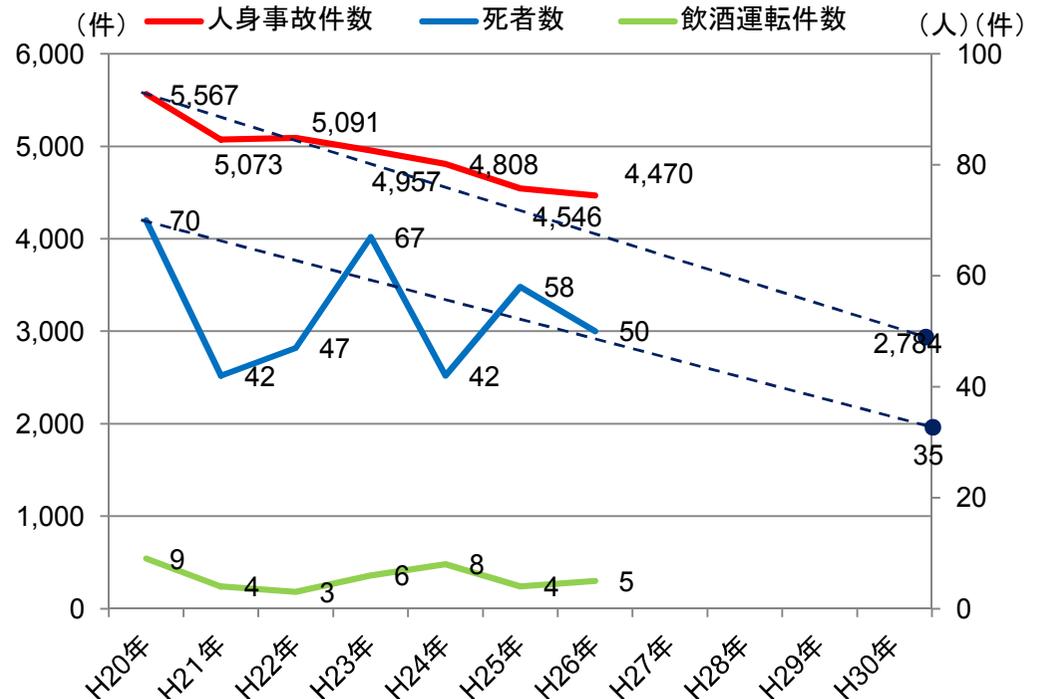
全国	死者数(人)	人身事故件数(件)	飲酒運転件数(件)
H20年	517	56,305	287
H21年	468	51,510	207
H22年	513	51,061	177
H23年	447	49,080	151
H24年	466	45,346	121
H25年	434	42,425	126
H26年	421	39,649	未公表

中部	死者数(人)	人身事故件数(件)	飲酒運転件数(件)
H20年	70	5,567	9
H21年	42	5,073	4
H22年	47	5,091	3
H23年	67	4,957	6
H24年	42	4,808	8
H25年	58	4,546	4
H26年	50	4,470	5

【全国】



【中部運輸局】



※出典:(公財)交通事故総合分析センター(イタルダ)及び中部運輸局資料

## 1, 中間見直しの講ずべき施策の更なる推進

- ▶トラックの追突事故防止のための車間距離確保と制限速度遵守の徹底を推進。
- ▶タクシーの追突、出会い頭事故について、信号のない交差点での安全基本動作の徹底を推進。
- ▶バスの車内事故防止対策について、高齢者を対象とした車内事故防止教室の開催等を積極的に推進。
- ▶悪質な貸切バス事業者の排除の徹底  
(運賃改定に係る確認監査、悪質な貸切バス事業者への重点監査(運行管理、整備管理)、貸切バス整備事業者への重点監査)
- ▶中間見直しの講ずべき施策において、未実施の施策については各関係者において実施に向け検討。

## 2, 取り組み事例の水平展開

- ▶愛知県バス協会  
適正化指導員による巡回指導の前段階におけるコンサルティング事業として、各事業者に対するコンプライアンス及び安全マネジメントの説明を実施。
- ▶愛知県タクシー協会  
年間を通して、日没60分前にライトを点灯する「早めのライト点灯」及びペースカー運動(制限速度遵守運動)を実施。
- ▶静岡県トラック協会  
追突事故ゼロ作戦を推進するアイテムとして、GPS対応のドラレコ等を活用した急ブレーキ多発地点マップを作成しHPに掲載。
- ▶岐阜県トラック協会  
県警本部とタイアップして、優良ドライバー認定制度を創設し、安全運転を心がける優秀な運転者へ認定書と認定ステッカーを授与し、ドライバーを安全啓発の一員と位置づけて交通道德の高揚と安全意識向上を促進。
- ▶福井県トラック協会  
毎年、「運輸安全マネジメントカレンダー」を作成し、全会員に配付。  
全国適正化実施機関が行う指導員研修に新人からベテランまでの全職員を派遣し、常に新しい知識や技能を習得させて指導力の向上を促進。

## 3, 健康管理支援事業の取り組み

- ◆健康保険協会(協会けんぽ)や地域保健センター等と連携し、健康健康管理方法を提示することで健康管理に対する取り組みを支援
  - I. 健康管理マニュアルの周知徹底
  - II. 健康管理環境の整備支援
  - III. 健康管理機器を活用した健康管理方法の具体例や機器の使い勝手の把握
  - IV. 各種スクリーニング検査の受診状況・受診後の対応・活用状況の把握

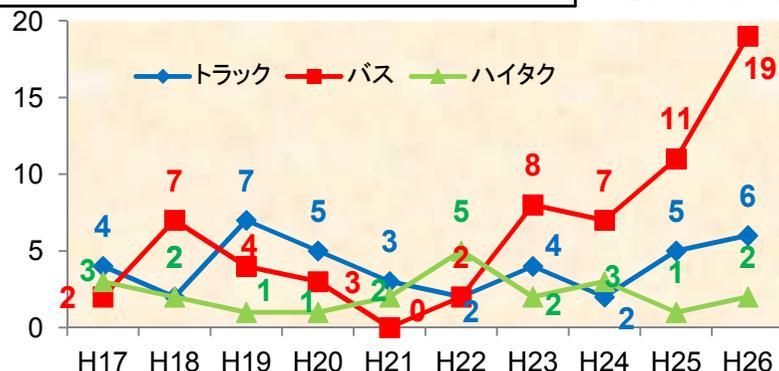
※別添資料参照

○中部運輸局においては、バス・トラック・タクシーの関係協会、健康保険組合、各県健康保険協会や地域保健センター及び健康管理支援企業等と連携し、以下の対策を通じて、事業規模や事業形態に応じた効率的かつ効果的な健康管理環境の整備方法や健康管理方法を提示し、運送事業者における健康管理対策が一層推進するよう支援する。

## 現状及び問題点

### 1. 健康起因事案件数の増加

出典:自動車事故報告書  
平成26年の数値は速報値



### 2. 健康管理マニュアルの浸透不足

- ・健康管理マニュアルを認識していない事業者が散見

### 3. 健康管理環境の未整備 (ソフト)

- ・社内における健康管理体制が未整備
- ・健康管理方法の理解が進んでいない。

### 4. 多種多様な健康管理機器・検査 (ハード)

- ・多種多様な健康管理機器  
(補助対象機器が多く選択に課題)
- ・推奨されるスクリーニング検査(人間ドック、脳ドック、SAS等)が多く、費用が増大。

## 対策

### 1. 健康管理マニュアル及びストレスチェックの周知徹底

- ・運行管理者講習、事故防止セミナー、関係団体主催の各種セミナー等において周知
- ・保安監査、適正化事業実施機関の巡回及び事故報告時等に周知

### 2. 健康管理環境の整備支援

各種セミナー、監査、適正化の巡回及び事故報告時等を通じて、運送事業者に対して以下の活用を促進。

- (1) 産業医や保健師の活用促進
  - ・産業医や保健師の活用事例の把握・紹介
- (2) 地域保健センター等の支援団体の活用促進
  - ・地域保健センター、協会けんぽ、健康保険組合、健康管理コンサル等の活用事例の把握・紹介(例:Willer Express、新成運輸)
- (3) 先進的実証実験の参画促進
  - ・安全運行サポーター協議会による体調予報(例:第一名誠運輸)

### 3. 健康管理機器を活用した健康管理方法や機器の使い勝手把握

- ・健康管理機器を導入している事業者への調査による活用方法・使い勝手の把握

### 4. 各種スクリーニング検査の受診状況・受診後の対応状況の把握

- ・脳・心疾患やSAS等のスクリーニング検査の受診対象者の選定方法、受診間隔・方法、場所、受診費用・補助額
- ・治療状況、治療者の勤務状況など